旭が丘小学校だより

令和３年９月２４日　第１５号

文責　校長

！台風直撃！～臨時休校へのご配慮ありがとうございました～

９月１７日（金）は、台風による臨時休校となりました。県内のほぼすべての小中学校がお休みになりました。どのような一日を過ごされましたか。連休に入る前の４連休となった子どもたちです。さぞかし喜んでいると思い、数名の６年生と話をしましたが、「ひまです」「することがありません」「学校に来たいです」「何もしません」等の回答でした。時間を持て余すのか、どのように過ごせばいいのか困惑している感じでした。

マラソンで有名な高橋尚子さんの、「何も咲かない寒い日は、下へ下へと根をのばせ、やがて大きな花が咲く」という言葉があります。こちらを引用して「何もできない雨の日は、下へ下へと根をのばせ、やがて大きな花が咲く」と言い換えましょう。読書をしたり、お手伝いをしたり、家族と一緒に何かを作ったり等、動けない日は「自分肥やし」に力を注げたらいいですね。時間がある時の過ごし方を考えることは、今後生きていく上でも重要だと思います。

今後も、外に出れない日、出ることを控える日が続く中で、自宅にいながらできる「自分肥やし」について、お子様と一緒に考えてみられてはどうでしょうか。

☆鬼退治☆

「鬼滅の刃」がブームです。空前のヒットを遂げているこのアニメに、人々はなぜ惹かれるのでしょうか。

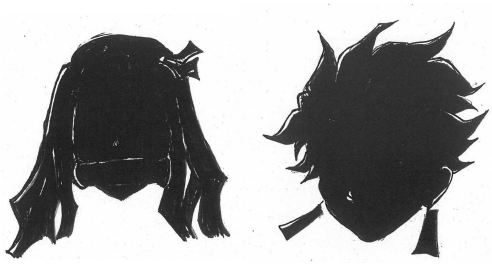
理由１：悪を絶つ潔さ

理由２：家族思いで深い思いやりの心を持つ主人公のやさしさ

理由３：登場人物の多様さ（人も鬼も）

理由４：大正時代、大正ロマンの情景（主に大人が）

理由５：敵である鬼の人生・背景（もともとは人であった）



このような理由があるようです。

古来、鬼は滑空の生き物で、桃太郎に代表されるように鬼にまつわる伝説や昔話が多く存在します。そしてその多くで、鬼は人の心そのものであると言い伝えられています。つまり、鬼滅の刃のように、鬼のもとは人（そもそも人）です。そうであれば、昔から鬼退治は自身の心に対峙した心との闘いだということもできるでしょう。

人には願いがあります。また、時代時代の人の願いもあるでしょう。成敗され消滅していく鬼のセリフに、「本当はこうなりたかった」「こうしたかったんだ」という言葉が出てきます。思いや願いが、いつの間にかよくないものや歪んだもの、邪悪なものになってしまった時、私たちの心に鬼が存在するのかもしれません。成敗するのは自身の心、心との闘いなのかもしれません。

そしてどこかでやり直して、正しく潔く生きたい、そんな願いを求めていこうとするのがこの物語なのかもしれません。作者に聞いてみたいところです。

最後に、主人公の竈門炭治郎が、鬼狩りをしながらやさしく思いをはせている言葉をいくつか掲載します。

「死闘の果てでも、祈りを」　「失意の底でも、感謝を」　「絶望の淵でも、笑顔を」　「憎悪の先にも、慈悲を」　「残酷な世界でも、愛情を」　「非情な結末にも、救済を」　「重ねた罪にも、抱擁を」

子どもを育て見守っていく、家庭や学校の教育のあり方にも大きくつながりそうな言葉ですね。

登校時の対応（もうすこし続けます）

＜組体操指導風景＞

最近の感染症の状況を見ると、２４日（土）には「ステージ２」に落ち着く見通しです。旭が丘小学校では運動会も近いことを考え、もうしばらく玄関先での検温・消毒や登校時間の分散を継続します。

朝、検温器を持った私どもに、おでこを見せつつ近づいてくる子どもたちは大変かわいいです。引き続きご家庭や登校時における感染対策にご協力願います。

＜ありがとうございました～ＰＴＡ除草作業＞

夏休みに予定されていて延期となっていたＰＴＡの除草作業ですが、１８日（土）早朝に実施されました。延べ２３０人の参加がありました。多くの方々のご協力とＰＴＡの担当の方々の周到な準備により、更に教育環境を整えることができました。感染症拡大防止のため集合することができず皆様のお顔をあまり拝見できませんでしたが、多数参加いただいたことを本当に嬉しく思いました。あらためましてご協力ありがとうございました。

□ サーキュレーターを購入させていただきました □

学校には、扇風機が設置されていない部屋（保健室、給食準備室、職員室等）があります。この度ＰＴＡの予算よりサーキュレーターを購入させていただきました。感染症対策で換気は最重要の対策でありとても重宝しています。ありがとうございました。

ちなみに各教室では、エアコンと扇風機を併用し換気に取り組んでいます。

全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて

先日、令和３年度の全国学力・学習状況調査の結果の概要が届きました。

国語については、ほぼ県の平均に近い正答率となりましたが、算数については県の正答率より３～４ポイント程低い結果となりました。子どもたちは頑張りましたが課題は残りました。

今後の対応としては、引き続き文章になれる学び、文章を読み取る学び、そして表現する学び（読むこと、書くこと）を、教科を越えて最重要の取組としていきます。また、定着が今一つだった漢字の読み書きについても力を入れていきます。

また特に算数については課題が大きいことから、未定着である内容を明確にして、授業中の振り返りの学習を重視します。また、家庭学習を通じて一層定着を図るようにしたいと思います。特に家庭学習については引き続きご理解とご協力をお願いします。